

指定管理者制度活用事業 評価シート(特別養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人和楽会 ・代表者名 理事長 清水 完敏 ・住所 川崎市高津区千年141-2	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①特別養護老人ホーム事業(入所定員 64 人) 在籍者数 64人(平成27年3月31日現在:入院等不在者を含む) <table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護3</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>12</td> <td>23</td> <td>22</td> <td></td> <td>64</td> </tr> </table>								介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計	利用者数	5	2	12	23	22		64											
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計																											
	利用者数	5	2	12	23	22		64																											
	②通所介護事業(通所定員 40人/日) 年間延べ利用者数6,189人:定員に対する稼働率59.9% <table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>500</td> <td>471</td> <td>518</td> <td>570</td> <td>532</td> <td>514</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>520</td> <td>489</td> <td>486</td> <td>505</td> <td>537</td> <td>547</td> </tr> </table>									4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	500	471	518	570	532	514		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	520	489	486	505	537
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																													
延べ利用者数	500	471	518	570	532	514																													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
延べ利用者数	520	489	486	505	537	547																													
③短期入所事業(通所定員 16 人) 年間延べ利用者数 5,542人:定員に対する稼働率 94.8% <table border="1"> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>479</td> <td>481</td> <td>442</td> <td>423</td> <td>473</td> <td>467</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>464</td> <td>474</td> <td>491</td> <td>446</td> <td>421</td> <td>481</td> </tr> </table>									4月	5月	6月	7月	8月	9月	延べ利用者数	479	481	442	423	473	467		10月	11月	12月	1月	2月	3月	延べ利用者数	464	474	491	446	421	481
	4月	5月	6月	7月	8月	9月																													
延べ利用者数	479	481	442	423	473	467																													
	10月	11月	12月	1月	2月	3月																													
延べ利用者数	464	474	491	446	421	481																													
収支実績	④居宅介護支援事業 給付管理者数(平成28年3月分) <table border="1"> <tr> <th>介護度</th> <th>要介護1</th> <th>要介護2</th> <th>要介護4</th> <th>要介護5</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>管理者数</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>0</td> <td>101</td> </tr> </table>								介護度	要介護1	要介護2	要介護4	要介護5	その他	合計	管理者数	34	26	13	17	0	101													
	介護度	要介護1	要介護2	要介護4	要介護5	その他	合計																												
	管理者数	34	26	13	17	0	101																												
	①特別養護老人ホーム事業(③短期入所含む) (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>267,495,896</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>59,702,747</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>18,532</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>327,217,175</td> </tr> </table>								介護料収入	267,495,896	利用者等利用料収入	59,702,747	その他の事業収入	18,532	合計	327,217,175																			
	介護料収入	267,495,896																																	
	利用者等利用料収入	59,702,747																																	
	その他の事業収入	18,532																																	
	合計	327,217,175																																	
	(支出) (単位:円) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>155,456,658</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>64,633,470</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>50,546,790</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>270,636,918</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>56,580,257</td> </tr> </table>								人件費	155,456,658	事業費	64,633,470	事務費	50,546,790	合計	270,636,918	(収支差額)	56,580,257																	
	人件費	155,456,658																																	
事業費	64,633,470																																		
事務費	50,546,790																																		
合計	270,636,918																																		
(収支差額)	56,580,257																																		
②通所介護事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>62,063,188</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>4,857,077</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>5,776</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>66,926,041</td> </tr> </table>								介護料収入	62,063,188	利用者等利用料収入	4,857,077	その他の事業収入	5,776	合計	66,926,041																				
介護料収入	62,063,188																																		
利用者等利用料収入	4,857,077																																		
その他の事業収入	5,776																																		
合計	66,926,041																																		
(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>40,404,377</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>14,975,682</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>7,685,138</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>63,065,197</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>3,860,844</td> </tr> </table>								人件費	40,404,377	事業費	14,975,682	事務費	7,685,138	合計	63,065,197	(収支差額)	3,860,844																		
人件費	40,404,377																																		
事業費	14,975,682																																		
事務費	7,685,138																																		
合計	63,065,197																																		
(収支差額)	3,860,844																																		
④居宅介護支援事業 (収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>20,218,854</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>127,166</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20,346,020</td> </tr> </table>								介護料収入	20,218,854	利用者等利用料収入	0	その他の事業収入	127,166	合計	20,346,020																				
介護料収入	20,218,854																																		
利用者等利用料収入	0																																		
その他の事業収入	127,166																																		
合計	20,346,020																																		
(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>17,520,009</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>660,048</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>1,549,083</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,729,140</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>616,880</td> </tr> </table>								人件費	17,520,009	事業費	660,048	事務費	1,549,083	合計	19,729,140	(収支差額)	616,880																		
人件費	17,520,009																																		
事業費	660,048																																		
事務費	1,549,083																																		
合計	19,729,140																																		
(収支差額)	616,880																																		
(収入) <table border="1"> <tr> <td>介護料収入</td> <td>349,777,938</td> </tr> <tr> <td>利用者等利用料収入</td> <td>64,559,824</td> </tr> <tr> <td>その他の事業収入</td> <td>151,474</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>414,489,236</td> </tr> </table>								介護料収入	349,777,938	利用者等利用料収入	64,559,824	その他の事業収入	151,474	合計	414,489,236																				
介護料収入	349,777,938																																		
利用者等利用料収入	64,559,824																																		
その他の事業収入	151,474																																		
合計	414,489,236																																		
(支出) <table border="1"> <tr> <td>人件費</td> <td>213,381,044</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>80,269,200</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>59,781,011</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>353,431,255</td> </tr> <tr> <td>(収支差額)</td> <td>61,057,981</td> </tr> </table>								人件費	213,381,044	事業費	80,269,200	事務費	59,781,011	合計	353,431,255	(収支差額)	61,057,981																		
人件費	213,381,044																																		
事業費	80,269,200																																		
事務費	59,781,011																																		
合計	353,431,255																																		
(収支差額)	61,057,981																																		
サービス向上の取組	サービス向上のための研修として、「質の高いサービスの提供をもって、いわゆる重度者の受け入れが可能となるように、概ね年度計画どおりに研修を修了させ、その修了者による研修報告等によりその内容の周知を行うとともに、実践している。さらに、研修参加への要望に応えること、法人、施設が抱える課題の解決や施設運営の方向性が見出せるようにするために、外部から講師を招き全職員が参加できる工夫をしながら研修を実施し、職員のスキルアップに努めている。 また、職員体制の強化のため、引き続き副主任の下に、各フロアのリーダーを設け役割を明確にすることにより、次期の主任、副主任候補の育成を行い、併せて、主任、副主任の負担軽減と職員のモチベーションアップに繋げるなど、働く環境の整備に努めている。																																		

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	10	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
	健康管理	利用者の健康管理は適切に行われているか	10	4	8
		感染症への対策は適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>各職種の職員のアセスメントから課題抽出と支援計画の検討、話し合いながら支援計画を作成している。各職員が対応した内容や利用者の状態等を記録し、情報共有に努めている。担当者会議開催時等に、可能な限り利用者や家族の参加を促し、生活上の問題解決と目標と支援内容の共有化、支援方法の統一に取り組んでいる。</p> <p>法人独自の取組として、引き続き満足度調査と年2回の家族会の開催の際に行うアンケートにより、ニーズの把握を実施し、業務の改善に役立っている。また、機関紙の発行、ホームページの運用を行い、情報の開示・発信に努め、また、地区の社会福祉協議会からのボランティアの受入、近隣の保育園、小学校等との交流等、地域との交流を積極的に行っている。</p> <p>入居者に対しては、入居時の健診、年1回の健診、月1回の体重測定及び必要時採血等を実施し、受診、検査入院の必要のある方には、医師、入居者家族と連絡、調整を図りながら適切な判断、処置を行っている。</p> <p>また、施設独自の体操を導入し、体を動かし生活に張り、心身機能の維持向上を図るとともに、食欲に繋がるよう取り組んでいる。</p> <p>職員に対しては、年1回の健診を実施、常に衛生的な環境を保つよう心がけるとともに、入居者等の体調把握に努め、変化があった場合は早期受診に繋げた。</p> <p>インフルエンザ等感染が流行する時期は、特別対策期間として、介護職員の使い捨てのエプロンの使用、空間除菌剤の使用、うがい薬の使用、靴底の消毒、公共交通機関利用者に対するマスクの配布、職員の予防接種の実施、委託業者従業員の予防接種の推奨、近隣の感染症発生情報を収集する等、感染症対策を実施している。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>特別養護老人ホームにおいては、感染症予防対策により、感染症の蔓延を防止し空床を増やすことのないよう努めている。</p> <p>短期入所においては、居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの連携を図り、事業所の特徴や利用に対する理解が深まるよう努めるとともに、キャンセルが出た際はすぐに空床を埋めるよう努めた。</p> <p>通所介護においては、重度者を受け入れることができるような体制づくりに努め、また、朝、夕の時間に特化した職員を雇用することにより、送迎時のきめ細やかな対応を可能とし、また、これまで職員が手薄であった時間帯の見守り強化も図られた。</p> <p>光熱水費の節約ポスターを作成、掲示し、電気については電力デマンド監視モニターを活用し、設定以上の電力使用を抑える等経費節減に努め、また、特別養護老人ホームについて、入院者を出さないよう感染症対策、健康チェック、職員の観察力の向上と各種情報の共有に努めている。</p> <p>空床を持たないことが地域貢献の一つであるという意識を全職員が持つよう促しを実施。</p> <p>施設会計については、外部の会計事務所に委託し、毎月点検を実施。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	10	3	6
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
	利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	3	6
		利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか			
		意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)			
<p>利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか</p> <p>(評価の理由)</p> <p>月1回の運営会議において、現状分析、課題把握、改善策検討を行い、夢見ヶ崎合同会議において3か月に1回、事業(部署)間の情報共有、連携強化や他部署からの評価、助言を得て業務の改善に努めている。アセスメントや課題分析については、利用者の入居時と、日常生活動作(ADL)や状況変化が見られた際に行うとともに、利用者や家族に対して、相談や現状報告等を適宜行い情報の共有に努めている。</p> <p>地域に対してどう貢献するかを考え、特別養護老人ホームでは、定員に対する欠員を出さないこと、空床を生じさせないことが施設として果たすべき義務の一つとして、地域サービス利用支援担当を配置し、新規入所者の事前調査、欠員解消に努めている。入所まで時間のかかる方に対し、ショートステイやデイサービスなどの他のサービスに繋げる提案をするなど、サービスの利用促進を図り、また、地域への情報発信に努め、その中で地域ニーズを汲み取り、それを事業所の運営に反映させることを意識した運営に努めている。</p> <p>副主任の下に、新たに各フロアのリーダーを設けることにより、次期主任、副主任候補の育成を図るとともに、職員のモチベーションアップに繋げている。</p> <p>また、意見を述べる方に発言しやすい環境づくりをするなどの配慮をすることで、更なる意見等の收拾に努め、意見に対しては運営会議等で対応を検討している。</p>					

組織管理体制制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	4	8
		安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3
	事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か				
	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。				
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
		個人情報の管理は適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>介護職員、看護師について、看取り、重度化への対応のための手厚い配置に努めるとともに、地域交流促進、ボランティアの受入等に取り組んでいる。</p> <p>サービスの質の向上、職員のスキルアップに向けた取組として、法人として実務者研修ができる取組を行い、パート職員から正規職員への切り替えにも取り組んでいる。</p> <p>サービス提供にあたっては、身体拘束廃止を推進していることから、常に転倒事故のリスクがあるが、事故対策委員会(リスクマネジメント委員会)を設置し、事故分析、対策等について月1回定例会議を行い、施設内事故の状況把握、迅速な対応に努めている。</p> <p>また、安全管理に係るマニュアルを作成(更新)し、情報の共有に努めている。特別養護老人ホームでは、事故報告書のみならずヒヤリハット報告についても提出を徹底し、施設独自基準において微少な内出血斑等についても報告を義務付け、検証を徹底している関係で事故の発生件数が高い状況となっている。ヒヤリハット、事故報告書に上がったケースは、すべて原因、対策を検討し、報告書により関係者へ周知を行っている。職員の安全管理への理解不足について、新人職員への再教育に対するフォローアップ体制も整っている。</p> <p>個人情報の取扱いについては、個人情報保護法の法令遵守を心掛けた施設運営を行うとともに、「個人情報に関する基本規則」を制定し、それに基づき「個人情報に関する基本方針」の告知、「個人情報に関する文書等管理規則及び個人情報取扱規則」の策定、職員のみならず、委託事業者等についても個人情報に関する誓約書の提出の義務付けを行っている。</p>				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	3	6
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
	<p>(評価の理由)</p> <p>施設及び設備の維持・管理については、業者に業務委託を行い適正な維持・管理に努めている。また、大きな不具合の発生や修繕が必要となる前に、早め早めの調整に心がけ、業者との連携を密にし、設備の長寿命化にも配慮している。</p> <p>家族やボランティアの方々、地域の事業所の訪問も多いことから、常に施設内の衛生、美化、整理・整頓に心がけ、来館者からも評価を得ている。</p> <p>防犯等に関しては、警備を委託し、定時見回り、夜間警備を実施し、犯罪等の外部脅威への対策だけでなく、施設内で起こる失火や利用者の急な容態の悪化等の突発的な事故の発見につながるよう努めている。</p>				

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>地域貢献という視点で、特別養護老人ホームの欠員状態をできる限りなくすよう努め、また、地域サービス利用支援担当を配置し、地域ニーズへの対応を行っている。</p> <p>多職種の連携により独自に開発した体操を施設利用者を実施するなど、身体機能等向上に向けた取組が行われている。</p> <p>施設職員のスキルアップ等のための研修等の受講機会の確保については、今後充実に向けた検討を実施していただきたいと考える。</p>
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
